

平成30年度 第3回理事会 議事録

日 時 平成30年12月15日(土)14時00分～15時15分
場 所 北海道立総合体育センター 大研修室
出席者 生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、大江憲一
黒田謙二、印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一
丸山道博、浅野泰弘、春間好実、家近昭彦
佐藤敏夫、川埜保幸、鎌田勝広、西谷清之
高橋克徳、関原榮司、志手典之、宇野 要
川崎尚子(代理)、柴田一徳、奈良孝伸、福原英典、
松野清佳、阿部 豊、大西能正、島山彩子
高坂 猛

1. 開 会

※総務委員長が、理事33名中27名の出席があり理事会は成立することを報告した。

2. 会長あいさつ

平成30年度第3回理事会にお集まりいただきお礼。今年は、9月14日からの2018日本マスターズ札幌大会が、直前の北海道胆振東部地震により中止となるなど、被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。9月末から10月にかけての2018世界選手権女子札幌大会は成功のうちに終了し、来年はワールドカップ女子大会が開催される。世界選手権の課題を整理し大会成功に向けご協力お願いする。

さて、当協会では昨年に引き続き、指導者による選手への暴力事件が発生し、倫理委員会報告に基づき処分を決定した。協会としての綱紀粛正が求められましたが、私共一人ひとりがこのことを真摯に受け止め、協会一丸となって対応を行かなければなりません。

本日の理事会では、今年度前期事業実施状況などの報告ほかについてご協議の予定で、理事会の後には役員の忘年会を兼ねた懇親の場も予定しており、皆さんよろしく願います。

3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、帯広協会福原理事、春間常任理事の2名を指名する。

4. 報告事項

(1) 平成30年度前期事業実施状況について

①総務委員会（資料2～3ページ記載の通り）

・事業実施の報告がある。MRS登録状況の説明がある。

②競技委員会（資料 4 ページ記載の通り）

- ・黒丸の事業は終了した事業。道ホームページについて各加盟団体とのつながりができるように更新していく。

③強化委員会（資料 5 ページ記載の通り）

- ・事業実施の報告がある。国体結果について説明がある。

④審判委員会（資料 6～7 ページ記載の通り）

- ・事業実施の報告がある。8 月 8 日～10 日まで日本 B 級キャンプに参加した釧路協会藤枝彰恵氏と根室協会小沢敦氏の追加報告がある。すべての審判講習会終了の報告がある。日本協会名誉審判員の推薦、北海道協会名誉審判員の認定、日本 B 級審判員の認定が常任理事会で承認されたことの報告がある。

⑤指導普及委員会（資料 8～11 ページ記載の通り）

- ・各種事業実施の報告及びジュニアキャンプ（一次）開催結果の報告がある。

（2）平成 30 年度一般会計執行状況について

- ・収支とも予算通り執行されていると総務委員長の報告がある。

<質疑等>

- ・MRS 登録が配分から積立方式になるが、選手やチーム関係者は理解しているか。

⇒チームは理解している。複数のカテゴリーでの登録者が従来の 2000 円以上となる。

<承認される>

5. 協議事項

（1）平成 31 年度以降の全道大会開催地について

- ・丸山競技委員長より平成 31 年度競技日程について説明がある。平成 32 年度までの全道大会の開催地は決定済み。平成 31 年度から高校総体の北海道枠が男子は 1 チーム、女子は 2 チームになると報告がある。

<承認される>

6. その他

（1）世界選手権実行委員会報告

- ・本日前段に世界選手権実行委員会を実施した。チケット販売手数料は 1 日 5,300 席販売し、5 日間で 5,500 席が売れ約 20.8%の入場者があった。決算については支出にかかる業務運営費は 15,860,987 円で JVA から運営委託費として同額の収入がある。チケットの販売総額は 11,792,600 円となり、JVA への納入金（85%）、チケットショップへの手数料、加盟団体への先行販売取りまとめ手数料を差し引いた残にグッズ販売売上の 10%を合わせて 1,165,923 円の残額となり、特別会計に繰り入れし来年度の予算化とする。会場使用料の 10,106,752 円は今年 toto 宝くじの助成を受けるので JVA から道体協に直接払いとなった。
- ・来年のワールドカップも世界選手権同様実行委員会を立ち上げて準備をし、世界選手権の実行委員も引き続きワールドカップも願います。ワールドカップのチケットは 5 月連休明けから全国一斉販売される予定であり、先行予約等加盟団体に協力をお願いします。

<世界選手権女子札幌大会の報告とワールドカップの関係について承認される>

(2) 日本協会関連

- ・11月23日「全国ブロック理事長・全国連盟代表の合同会議」に出席しJVA中期経営計画及びMRS登録料の値上げ時期についての報告がある。2022年世界選手権大会の男子はロシア開催、女子は中国、メキシコ、日本、オランダの4か国が候補になっており、放映権等の高騰で今後日本での開催は難しくなる。

(3) 各委員会関連

①総務委員会

- ・全日本小学生大会の男女混合の部で準優勝を飾った北北海道代表遠別イーグルスの表彰に授与する記念品について、チームからバレーボールネットの希望があり、購入費の半額分を助成することになった。
- ・北海道胆振東部地震の義捐金が大分県協会から届き、道内で特に人的被害の甚大な厚真、鶴川、安平町を傘下としている苫小牧協会に受けていただくことの承認を頂いた上で会長より伝達される。 <承認され会長より伝達する>

②強化委員会

- ・国体結果の詳細について報告がある。

③競技委員会

- ・ミカサ新ボールの取り扱いについて、3月の国内競技委員会で決定する。道内大会は全国大会と同様の取り扱いとなる。なお、一般販売は2019/5月上旬を予定している。
- ・ヴィンテージ8が2020年度北海道開催となるため、開催地を受けて頂ける協会を募集する。

④学連

- ・2019年度6/27~30まで東日本バレーボール大学選手権大会が開催される。全日本学連による小中学生のバレーボールを増やす取り組みで小学生連盟と協力して小学生バレーエキジビションやバレーボール教室を企画検討している。

⑤審判委員会

- ・H31/1/19, 20 東川小学校、3/16, 17 鷹栖体育館でヴォレアス北海道のホームゲームがある。2019-20はヴォレアス北海道がディヴィジョン2、サフィルバ北海道がディヴィジョン3に参戦し、東日本大会、ワールドカップ等、審判員の確保の協力お願いがある。


<質疑等>

- ・ヴィンテージの代表者会議で交流会から選手権大会に代わると聞いたがその後情報はるか。また、MRS登録が必須になると3年前から話題になっているが情報はるか。(帯広：福原理事)
⇒大会名変更の情報は無い。ヴィンテージチームのMRS登録については都道府県協会に任されているが、登録の主旨及び後進の育成のため登録の推進をお願いする。
- ・子供たちのバレーボール普及、きっかけ作りのために全日本の合宿を北海道に誘致していただきたい。(留萌：宇野理事)

⇒全国会議の際は強化担当に機会がある毎に誘致の話はしている。現在は味の素トレセンなどの施設が充実しており、地方の誘致は難しい状況である。その中で、Vリーグのファイナル6の開催を誘致するなどトップ選手のプレーを見せる事は可能であり、地区協会の周年事業や新体育館のこけら落としを利用することも考えられる。

7. 閉 会

【第3回理事会：平成31年3月16日（土）13:30～北海きたえーる】

議事録署名人 会 長 生島典明 

議事録署名人 福原英典 

議事録署名人 春間好実 